



海と
生きる

けせんぬま 復興ニュース

第98号 (平成28年8月15日発行)

【発行】
気仙沼市秘書広報課
〒988-8501
宮城県気仙沼市八日町一丁目1-1
TEL: 22-6600 内線 207・208
FAX: 24-3566 (市外局番「0226」は省略しています)
E-mail: h-koho@city.kesenuma.lg.jp

✓ 南気仙沼(内ノ脇)地区・気仙沼内湾(魚町)地区 災害公営住宅が完成 入居開始

■問い合わせ先/
災害公営住宅整備課
tel: 22-6600 内線427

現在、市で整備を進めている災害公営住宅のうち、南気仙沼(内ノ脇)地区と気仙沼内湾(魚町)地区の住宅が完成し、今月から入居を開始する予定となりました。今回の2地区の完成により、今月末までに20地区1,108戸が完成し、全体の進ちょく率は52.0%となります。



○南気仙沼(内ノ脇)地区住宅
構造/鉄筋コンクリート造9階建て2棟
戸数/55㎡ 72戸
65㎡ 48戸
80㎡ 24戸



○気仙沼内湾(魚町)地区住宅
構造/鉄筋コンクリート造4階建て
戸数/55㎡ 6戸
65㎡ 6戸
80㎡ 3戸

縁(えにし)と絆をいつまでも

✓ 一関市仮設住宅にお住まいの方と地区の方との 交流会が開かれました

7月27日、千厩地区の応急仮設住宅などにお住まいの方と、地区住民の方が参加する「ホットなひとときせんまや交流会」が行われました。

この交流会は平成23年から行われ、住宅再建が本格化し、これから気仙沼へ戻られる方が相次ぐため、今回は時期をいつもより早めて開催されました。

今夏に気仙沼へ引っ越す予定の参加者からは「再建先が決まりホッとしている反面、5年間住み慣れた環境で仲良くなった方々と離れるのはさみしい」との声も聞かれました。

交流会は、一関市社会福祉協議会千厩支部が企画したもので、当日は、仮設住宅などにお住まいの方やすでに気仙沼へ帰郷された方など90名が参加。参加者は、地元団体の手打ちそばや、一関のお振る舞いにはかせないというお餅料理を囲みながら、地区の方々が披露する歌や踊りを楽しみ、笑いの絶えない団らんのひとときを過ごしました。



▲会の後半では、輪になり「千厩音頭」を踊りました



✓ 企業誘致のトップセールスを行いました ～企業立地セミナー in Tokyo～

■問い合わせ先／
産業再生戦略課
tel: 22-6600 内線527



8月3日、東京都千代田区日本橋ロイヤルパークホテルで「宮城県企業立地セミナー」が行われました。

このセミナーには、関東圏の企業担当者約300人もの方々が参加。当日は、株式会社コバヤシの小林達夫代表取締役社長による講演のほか、参加市町村によるプレゼンテーションが行われ、本市からは復旧・復興に向けた取り組みや企業立地に関する投資環境を紹介しました。また、気仙沼の豊富な食材を囲みながら、各企業との情報交換や市のPRを行いました。

セミナーは、宮城県企業立地セミナー実行委員会が東京都と愛知県を会場に年1回ずつ開催しており、本市では平成23年度から参加しています。市では11月に愛知県で行われるセミナーにも参加し、継続した企業誘致に取り組んでいきます。

セミナーは、宮城県企業立地セミナー実行委員会が東京都と愛知県を会場に年1回ずつ開催しており、本市では平成23年度から参加しています。市では11月に愛知県で行われるセミナーにも参加し、継続した企業誘致に取り組んでいきます。

✓ 気仙沼の復旧・復興事業を伝えるパネル展を 全国各地で開催しています

■問い合わせ先／
計画・調整課
tel:22-6600 内線387

市では、これまでご支援をいただいた多くの皆さまに、気仙沼の復旧・復興の現状を広くお知らせし、引き続きご支援をお願いするとともに、震災の経験と教訓を伝承するため、全国各地でパネル展を実施しています。

平成26年度には東京スカイツリーで、平成27年度には宮城県の「みやぎの復興まちづくりパネル展」と共催で、東京都や大阪府などを会場に開催。また、気仙沼にゆかりのある方々のご協力により、東京都目黒区や、先月には鹿児島県霧島市でも開催することができました。

各会場では、多くの方々に足を止めていただき、気仙沼の現状をお伝えしました。また、本市出身者や、本市に派遣で来ていただいていた自治体職員の方々などにもご来場いただき、交流を深めました。

今年11月には東京都世田谷区での開催を予定しており、引き続きパネル展の開催に取り組んでいきます。



▲めぐろパーシモンホール
(展示期間: H28.1.13~2.28)
広いホールでは大漁旗も飾られました



気仙沼の今をお届けしました!



▶柱一面に展示した復興の様子や観光ポスターなど



◀霧島市(展示期間: H28.7.20~31)
市職員の方々にもお手伝いいただきました



▲東京スカイツリー(展示期間: H27.3.8)初の開催。多くの方にご来場いただきました



✓「水道廃止要件の緩和」と「水道加入分担金の免除」 の手続きをお忘れなく

■問い合わせ先／
ガス水道部 工務課
tel：23-2562

市では、震災により被災した方の住宅または事業所などの再建にかかる負担軽減を図るため、以下の特例措置を実施しています。

■水道廃止要件の緩和

これまで、水道を廃止する場合、所有者の自己負担により給水装置（※）の撤去工事を行うことを要件としていましたが、今回の特例措置では、被災住宅等に限り「給水装置廃止届出書」の提出のみとなります。 ※給水装置…給水管と止水栓、メータボックス、じゃ口などの給水用具のこと

■水道加入分担金の免除

○対象となる方・手続き…震災により市内で住宅または事業所が全壊、大規模半壊、半壊の被害を受けた被災者で、被災住宅などにおいて自らが所有していた水道にかかる「給水装置廃止届出書」を提出した方のうち、下記の要件に該当する方が免除の対象となります。

① 住宅または事業所、加工場等の新築、改築、補修などに伴い、給水装置を新設される方

■申請の時期／新設に係る給水装置工事申込書を提出するとき

■提出書類等／加入分担金免除申請書・給水装置廃止届出書・り災証明書

② 分譲住宅など住宅を購入し、給水装置の所有権を変更される方で、購入の際に給水装置に係る加入分担金を負担された方

■申請の時期／給水装置の所有権を前所有者から変更するとき

■提出書類等／加入分担金免除申請書・加入分担金還付請求書・給水装置廃止届出書・り災証明書・加入分担金を負担したことが確認できる書類（売買契約書等）

③ 平成26年6月30日以前（特例措置施行前）に住宅または事業所、加工場などを新築、購入し加入分担金を負担された方

■申請の時期／被災住宅等に係る給水装置の廃止届出を提出するとき

■提出書類等／加入分担金免除申請書・加入分担金還付請求書・給水装置廃止届出書・り災証明書・加入分担金を負担したことが確認できる書類（売買契約書等）

✓「ツール・ド・東北 2016」ボランティア募集中!

本年9月、気仙沼市・石巻市・女川町・南三陸町を舞台とした「ツール・ド・東北 2016」が開催されます。開催にあたり、大会を支えるボランティアを募集しています。ボランティア経験の有無は問いません。あなたも一緒に大会を盛り上げてみませんか？皆さまの応募をお待ちしています。



業務内容 ドリンクやフードの提供、ライダーの誘導（コース上およびエイドステーション）など

実施日 9月17日（土）、18日（日） ※どちらか1日のみの参加も可能です。

参加資格 15歳以上の方（中学生は保護者が引率者の同伴が必要です）

※ご担当の業務に応じて、事前に業務説明を行います。担当業務決定時に各業務ごとの集合時間と場所をお知らせしますので、案内にそって集合してください。

参加特典 大会オリジナルTシャツ・帽子を進呈します。また、次回大会の「ライダー優先出走権」が得られます。

申込方法 市観光課窓口にある申込用紙を提出するか、または「ツール・ド・東北 2016」特設サイト（<http://tourdetohoku.yahoo.co.jp/2016/>）からお申し込みください。

■問い合わせ先／ツール・ド・東北2016 大会運営事務局
tel:0570-099-820



大切な方を亡くしたあなたへ

☑ 「わかちあいの会」を開催します

日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士で分かち合う場所です。大切な方を亡くして辛い思いを抱えていらっしゃる方であれば、どなたでも参加いただけます。

- 日時／8月27日（土）午後1時30分から4時まで
- 場所／気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
- 参加費／無料 ※事前申し込み不要。

■問い合わせ先／

- ・健康増進課
tel: 21-1212
- ・仙台グリーンケア
研究会事務局
tel: 070-5548-2186

☑ 震災による拾得物を出張展示します

気仙沼復興協会では、震災時に市内で拾得された写真などについて、洗浄・仕分け・保管し、持ち主へ引き渡しを行っています。持ち主の方へ一点でも多く思い出の品をお返しするため、気仙沼復興協会内での常設展示のほか、下記のとおり出張展示を行います。ぜひご来場ください。

■問い合わせ先／

- （一社）気仙沼復興協会
tel: 27-3882

《出張展示》

日程	時間	場所
8月19日（金）	午前10時から午後3時まで	館山公営住宅コミュニティセンター
8月20日（土）	午前10時から午後3時まで	切通公営住宅コミュニティセンター
8月21日（日）	午前11時から午後5時まで	イオン気仙沼店2階
8月27日（土）	午前10時から午後3時まで	本吉公民館婦人研修室
8月28日（日）	午前11時から午後5時まで	イオン気仙沼店2階

■展示物／

一部の写真の展示、拾得物リスト・パソコンでの閲覧

《常設展示》

- 場所／気仙沼復興協会（長磯船原 5-2）
- 時間／午前9時から午後4時30分まで（水曜定休）



☑ 横浜に「気仙沼PORT」がオープンしました！

■問い合わせ先／

- 商工課
tel: 22-6600 内線523



▲「港」の絆が実を結び、テープカットで門出を祝いました

7月23日、横浜ワールドポーターズで「気仙沼PORT」のオープニングセレモニーが行われました。

セレモニーには横浜ワールドポーターズを運営する株式会社横浜インポートマートの齋藤義孝社長、横浜市経済局の林琢己局長、菅原市長が出席。オープンまでの経緯や復興に向けた本市の現状の説明、商品のPRなどを行ったあと、店舗前でテープカットを行い門出を祝いました。会場は、気仙沼出身の関東在住の方々など、開店を待ちわびた多くの人でにぎわいました。

お近くにおいでの際は、ぜひご来場ください。

🐼 「気仙沼 PORT」店舗情報

- 場所／横浜ワールドポーターズ2階
YOKOHAMA PORT MARKET 内
（神奈川県横浜市中区新港二丁目2-1）
- 販売品目／ふかひれスープ、さんまの缶詰、魚介調味料、サメ革製品、帆布製品 など

お詫びと訂正

けせんぬま復興ニュース8月1日号1ページの「気仙沼PORT」記事内に、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤)・市営地下鉄をご利用の方

正)・みなとみらい線をご利用の方

